

# 別所沼公園協議会 前回の振り返り

## 1. 令和5年度 第3回別所沼公園協議会出席者（令和5年12月19日）

区分	団体名等
学識経験を有する者	町田誠(国土交通省PPPサポーター)/会長、浅枝隆名誉教授
公民連携に係る識見を有する者	宮本恭嗣(さいたま市PPPコーディネーター)
本公園の利用団体の代表者	別所沼を守る会、100年別所沼、あそびの森、一般社団法人うらわClip、別所沼観光協会、一般社団法人 RUN DREAM 'S、ヒアシンスハウスの会、浦和別所小魚迷人クラブ、日本建築家協会関東甲信越支部埼玉地域会、株式会社エイト日本技術開発
本公園の近隣の自治会長	別所第三自治会
別所沼会館の管理者	埼玉県総務部職員健康支援課
公園管理者	さいたま市都市公園課、南部公園整備課、(公財)さいたま市公園緑地協会
その他	日本工営株式会社、株式会社日本インシーク、さいたま北商工協同組合

## 2. 主なご意見（⇒公園管理者等の見解）

### ■ 別所沼の水質調査について／藍藻対策のフロンティア（浅枝隆名誉教授との質疑応答）

- ・ダムなどでは主に曝気循環が使われるが、過酸化水素によるアオコ対策事例はあるのか。  
⇒光が強いほどアオコが繁殖しやすいという定説が以前はあった。研究が進むにつれ、光が強すぎるとかえってアオコの繁殖が抑制されることが明らかになった。曝気循環による水中の上層と下層の攪拌は、むしろアオコにとって好条件となる。過酸化水素による対策は、国内では国立環境研究所(平成27年)の研究事例のみであり、対策事例としては初の試みである。
- ・過酸化水素の添加量はどのように決定するか。  
⇒水中のアオコ原因種の細胞量により決定する。細胞量の測定方法は目視で数える手法や、アオコ原因種が光合成を行った際に、光の吸収量を測定する方法、アオコ原因種にストレスがかかった際に生成する過酸化水素量を測定する方法などがある。
- ・別所沼は有機物や金属が多く沈んでいることが懸念される。実験結果で導き出した過酸化水素の添加量よりも濃い濃度の過酸化水素が必要ではないか。  
⇒海外での事例を見ても、水槽等での実験結果と沼での結果にほとんど差がでないことから、問題ない。

### ■ 別所沼の水質調査について／過酸化水素によるアオコ抑制実験結果

- ・過酸化水素を別所沼全体に攪拌することは難しいのではないかと。攪拌装置は検討するのか。  
⇒令和5年度業務にて検討する。令和6年度も引き続き検討を行う予定。

# 別所沼公園協議会 前回の振り返り

## ■ 自然環境分科会での検討状況について

- ・沼の落ち葉拾いについて、公園管理者も定期的に行っているが、「別所沼を守る会」が主体的に取り組んでくれている。メンバーの高齢化による活動の継続性が課題となっているため、今後も協議会として検討が必要。県が公園を管理していた時代は、船で落ち葉をすくっていた。
- ・別所第三自治会が自然環境分科会に参加することが承諾された。

## ■ 利用環境分科会での検討状況について

- ・公園西側の自転車ルートは、幅が狭い区間の改修が必要。駐車場までの道路部分も含めて、今後、自転車の通行を誘導していく区間は、そのことがわかるような表示が必要。自転車ルートに色を塗ってしまうと、後戻りしづらいという意見は理解できるが、まずは取り組んでみたい。
- ⇒公園西側の自転車ルートは、先行的に取り組む方向で検討する。また公園東側の自転車ルートはグランドデザインで検討していく。
- ・高齢者が乗るような車椅子対応の自転車があり、自転車は多岐にわたる。市内の自転車サークルの方々を協議会へ呼び、意見を伺うなどできるとよい。
- ⇒さいたま市には自転車の政策を行う課がある。まずはそうした関係課から話をしてもらうのもよいのではないか。
- ・今回の協議会では暫定的な自転車ルートの検討がされたが、自転車ルールも含めた、別所沼公園のルールを定める必要がある。ただし、ルールの検討には、別所沼公園をどのような公園にしたいか、公園の目指すべき方向性や理念を議論することが先決ではないか。
- ⇒別所沼公園憲章(案)の検討を行い、次回の全体協議会に諮る。
- ・いずれ看板の検討を行う際は、看板に設置した日付など時間軸を記載してほしい。

## ■ 護岸の改修計画について

- ・護岸にPC擬木を用いているが、木材の採用は検討したのか。持続可能な社会の構築等を背景に、建築では木材がトレンドとなっている。
- ⇒木材護岸について検討する。

## ■ ホームページについて

- ・メインタイトルを楕円形とし、周囲をサブタイトルで囲むことが承諾された。

## ■ その他

- ・沼に落ちた釣り糸が動物に悪影響を与えることから、釣り糸マナーに関する看板を設置することが承諾された。